

〇〇〇党 選挙対策（マニフェスト担当）本部ご担当様

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

来る参議院選挙に向けて、ご多忙にご活躍のことと拝察申し上げます。

現在、日本各地で医療崩壊がドミノ倒しの現象となっていることは、メディア等の報道でも国民的関心事となっていることは明らかです。

私ども日本消化器外科学会でも、国民の命の安全を守るという立場から、日本の医療崩壊を阻止するために、現在の本会会員（消化器外科医）の置かれた状況につきまして、アンケート調査を実施し、来る7月18日～20日かけて開催いたします、第62回日本消化器外科学会定期学術総会（於：京王プラザホテル）で発表し、医療崩壊を阻止するためには、今後消化器外科医がいかに行動すべきかについて議論を行う予定です。

さて、私どものアンケート調査で判明いたしましたのは、全国で94%の消化器外科医が当直明けに通常勤務（手術や外来等）という過重労働、さらに外科医が化学療法（抗がん剤治療）・緩和ケア・救急医療・手術時の麻酔等、本来は専門外とも言える治療を行わざるをえないという医師不足の実態や、さらに、現在の消化器外科医（他科の医師も同様）が、他の先進国では医療事務者等が行っている、保険診断書や承諾書等多くの資料作成等の事務作業の増加に忙殺されていることも判明いたしました。

私ども日本消化器外科学会は、日本の医療崩壊を食止めるために、日本の医療体制をせめて日本の国力並みに整えることが必要最低条件であり、そしてそれを実施することができるのは政治と考えております。

そこで、来る参院選挙を前に、貴党のマニフェストをお伺いし、来る定期学術総会ほかにおきまして、ぜひ本会会員に紹介したいと考えております。

参院選挙直前の大変ご多忙の時期とは承知しておりますが、「医療は国民の命の安全保障」という観点でぜひご協力いただけましたら幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成19年7月吉日

有限責任中間法人 日本消化器外科学会
理事長 北野 正剛
第62回日本消化器外科学会定期学術総会
会長 上西 紀夫

締切：平成19年7月12日（木）必着でお願いいたします。

返送方法：同封筒あるいはファクシミリ（学会事務局：03-5641-3588）にて
お願いいたします。

この件に関する問い合わせ先

日本消化器外科学会医療環境検討委員会委員長

近畿大学医学部外科教授

塩崎 均

電話：0723-66-0221 近畿大学医学部付属病院

